

学校の“1人1台端末”に対応した新たな活用型情報モラル教材「GIGAワークブック」を開発

2022.07.14 コーポレート

第一弾として「GIGAワークブックかまくら」を公開
デジタル社会で不可欠な「情報モラル」と「情報活用」をセットで養う

一般財団法人LINEみらい財団（以下、LINEみらい財団）は、GIGAスクール構想※¹の中で児童・生徒が1人1台端末を活用するようになるなどの教育現場の変化を受け、より重要となっている「情報モラル」と「情報活用」の育成や向上を図るため、新たな活用型情報モラル教材「GIGAワークブック」を開発しました。その第一弾として、鎌倉市教育委員会と共同で作成した「GIGAワークブックかまくら」を公開しましたのでお知らせいたします。

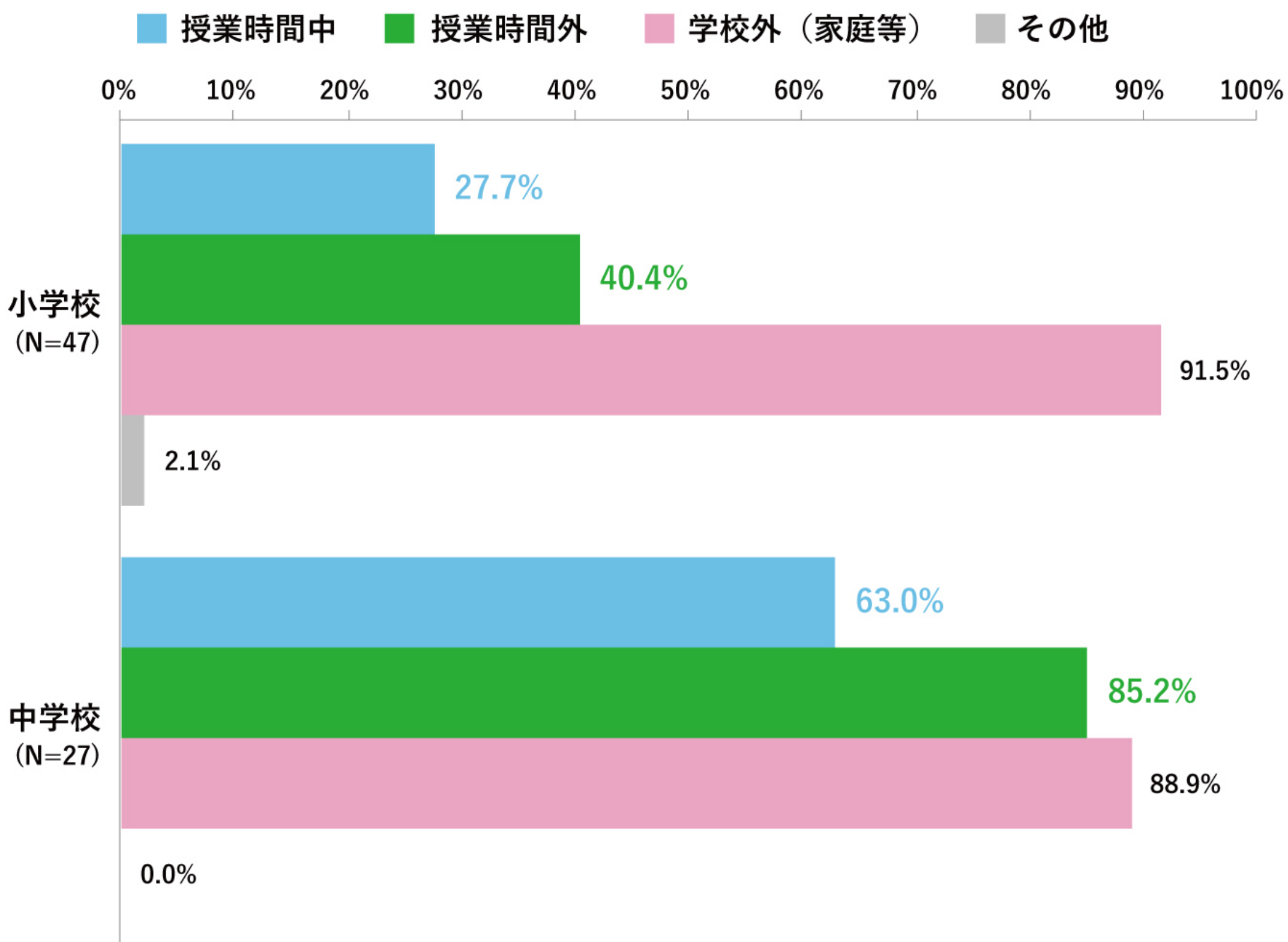


LINE株式会社およびLINEみらい財団は2012年より、子どもたちのより良いコミュニケーションや健全なインターネット利用啓発のため情報モラル教育に取り組んでおり、2017年には東京都教育委員会と共同で、児童や生徒の発達段階に応じて体系的に情報モラルが学べる「SNS東京ノート※²」を開発しました。その後、全国で活用いただける汎用版「SNSノート（情報モラル編）※³」や、長崎県、静岡県など7自治体とそれぞれ共同で、地域独自の育成目標などを取り入れた自治体版「SNSノート」を展開しています。

そうした中、教育現場においては、特に2020年以降、様々な変化が起きています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンライン授業への移行が喫緊の課題となり、加えて「GIGAスクール構想」も前倒しで実施が進み、2021年度からは児童・生徒1人1台端末での学びが本格化するなど、学校においてもICTやインターネットを活用することが日常となっています。また、LINEみらい財団が2021年に実施した調査※⁴においては、1人1台端末の状況下において小学校、中学校ともにネットトラブルが校内でも起きているという結果がでており、そうしたトラブルを防ぎ、児童・生徒がより安心してICTやネットを活用して学習できるよう、情報モラル教育の重要性がますます高まっているといえます。

<ネットトラブルの発生タイミング>

「一人一台端末環境におけるICT活用と情報モラル教育の実践に関する調査報告書」より



そこで、LINEみらい財団は、これまで展開していた「SNSノート」を現在の教育現場にあわせてアップデートした教材「GIGAワークブック」を、国立大学法人静岡大学教育学部准教授 塩田真吾氏※⁵と共同で開発しました。「GIGAワークブック」は「SNSノート」同様、地域で定める情報モラル育成目標や調査データ等、地域独自の要素を反映させた上で、自治体ごとに導入する教材となっており、今回、第一弾として、鎌倉市教育委員会と共同で小学4~6年生向け「GIGAワークブックかまくら（スタンダード版）」を作成し、公開しました。

「GIGAワークブック」では、「情報モラル」と「情報活用」に焦点を当て、ネットの特性や適切なコミュニケーション方法、情報のリスクなどを学ぶ情報モラル教育の内容をより充実させ、加えて、上手に情報やICTを活用し、情報社会に参画して社会に働きかけるための情報活用についても学べる内容を盛り込んでいます。

また、本教材の「情報活用能力を身につけよう」という章では、8つのICT活用場面「使う前に」「写真を撮る」「調べる」「考える」「共有する」「つくる」「交流する」「家で使う」を用意しており、都度必要な場面を選び15分程度の短い時間で学習することも可能です。

本教材は、児童・生使用の教材と、教師が自ら授業を実施できるよう用意した活用の手引がセットになっています。児童・生徒の教材については、それぞれに貸与されているタブレット端末やPCにデジタル版として配布可能となっています。

なお、鎌倉市においては、今回公開する小学4~6年生向け「GIGAワークブックかまくら（スタンダード版）」に続き、小学1~3年生向け、中学生向けの教材も作成予定となっております。児童・生徒の発達段階に応じて活用されることとなっています。

■ 「GIGAワークブックかまくら（スタンダード版）」教材ダウンロード

- ・ 児童用教材 https://d.line-scdn.net/stf/linecorp/ja/pr/GIGAWorkbook_Kamakura_Standard_202208.pdf
- ・ 教員用 活用の手引 https://d.line-scdn.net/stf/linecorp/ja/pr/GIGAWorkbook_Kamakura_Standard_Guidebook_202208.pdf

「GIGAワークブックかまくら（スタンダード版）」教材イメージ

児童用教材



教員用 活用の手引



「GIGAワークブック」は今年度、約30の自治体で展開予定となっています。LINEみらい財団は今後も、教育現場や社会の変化にあわせ、「情報モラル」や「情報活用」に関する教育活動に取り組み、子どもたちがデジタル社会で生きる力を養うことを支援してまいります。

- ※1 GIGAスクール構想について https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00011111.htm
- ※2 「SNS東京ノート」について <https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2017/1688>
- ※3 「SNSノート（情報モラル編）」について <https://linecorp.com/ja/csr/newslist/ja/2018/190>
- ※4 「一人一台端末環境におけるICT活用と情報モラル教育の実践に関する調査報告書」 <https://line-mirai.org/ja/report/detail/5>
- ※5 静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾（しおた しんご）
早稲田大学大学院博士課程修了、博士（学術）。千葉大学特任研究員、静岡大学教育学部助教、講師を経て、2015年より現職。専門は、教育工学、情報教育。第4期静岡大学若手重点研究者に選定。2021年より文部科学省ICT活用教育アドバイザーを務める。

■LINEみらい財団について

LINE株式会社は、これまでに取り組んできた一連の教育活動から得られた知見やノウハウを、LINE個社のCSR活動に留まらず広く社会に還元し、より広域的・永続的に活動するため、一般財団法人LINEみらい財団を2019年に設立し、情報モラル教育やプログラミング教育の充実等に取り組んでいます。

LINEみらい財団HP：<https://line-mirai.org/ja/top/>

